

平成 31 年度第 3 回 立川市入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	令和元年 8 月 30 日（金） 立川市役所 210 会議室		
出席委員氏名	鈴木満 委員長、山田春紀 委員、榎本孝芳 委員		
審議対象期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 7 月 31 日		
対象件数	工事 64 件 委託 0 件 総件数 64 件	（備考）	
抽出案件	工事 20 件 委託 0 件 総件数 20 件		
一般競争入札	工事 10 件 委託 0 件 総件数 10 件		
特命随意契約	工事 10 件 委託 0 件 総件数 10 件		
次 第	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 平成 31 年度工事契約抽出案件について (平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 7 月 31 日まで)</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 報告</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 業種別工事・委託契約の推移について</p> <p style="margin-left: 40px;">イ 平成 31 年度優秀工事事業者表彰実施報告</p> <p>3 その他</p>		
委員からの意見、質問及びそれに対する回答			
意見・質問	回 答		
<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 平成 31 年度工事契約抽出案件について (平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 7 月 31 日まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 7 月 31 日までに入札された 64 件の工事契約について、平成 30 年度の同一期間との比較結果を説明する。 ・総価契約（以下、総価）・一般競争入札（以下、競争）の工事契約は 51 件で平成 30 年度と比較して 13 件増加した。 ・総価・競争分で変動型最低制限価格が算定された入札は 31 件、算定率は 61%であった。また、くじ引きになった入札及び低入札案件（落札率が 50%以下）は 0 件であった。 		

<p>* 辞退者が多い工事について、何か特別な理由があったのか。</p> <p>* ハヶ岳山荘の工事は、都内の業者が行って工事するのは余り合理的ではない。交通費などは、どうしているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率 95%以上の総価・競争分 10 件について説明をする。 「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第 2 期工事」、「立川市八ヶ岳山荘本館各所改修工事（建築）」、「立川市立立川第七中学校便所改修工事」、「立川市八ヶ岳山荘本館各所改修工事（機械設備）」、「立川市道 1 級 16 号線歩道拡幅工事」、「立川市立立川第五中学校便所改修工事」、「立川市総合リサイクルセンター計量台貫更新工事」、「立川市立松中小学校ブロック塀等改修工事」、「立川市役所本庁舎職員用駐輪場改修工事」、「立川市立柏小学校ブロック塀等改修工事その 2」。 ・ 入札中止・不調対応以外の総価・特命随意契約（以下、特命）10 件について説明をする。 「立川市錦町下水処理場 2 次処理設備高度処理施設補修工事」、「立川市錦図書館空調機新設工事」、「立川市錦町下水処理場 汚泥処理設備焼却炉 (No. 1) 補修工事」、「立川市錦町下水処理場 1 次処理設備汚水 (No. 3) 雨水 (No. 3) ポンプ補修工事」、「立川市清掃工場 焼却炉整備補修工事（その 1）」、「立川市上砂町雨水ポンプ場 監視通信システム更新工事」、「立川市錦町下水処理場 2 次処理設備砂ろ過設備 (No. 4, 7, 9) 及び補機補修工事」、「立川市錦町下水処理場 1 次処理設備最初沈澱池 (No. 5, 6) 池槽設備補修工事」、「立川市公共下水道管渠等維持工事」、「立川競輪場走路面塗布工事」。 <p>* 工事内容を見て、人の配置や施工体制が組めなくて辞退した業者が多かったと考えている。</p> <p>* 入札後まで業者が都内か山梨かわからないので、積算の段階では遠距離の経費を見込んでいない。</p>
---	--

* 今回の便所改修工事には複数の同種工事を同日で入札する場合、先に開札した工事の落札者は、次の入札が無効になる、いわゆる取り抜けを実施している。業者のひとり占めを防ぐ仕組みと聞いているが、競争が減るのでいかがなものか。

* 「立川市立若葉台小学校新校舎建設工事（建築）」は 26 億円の大規模案件なのに参加者が 1 社しかなかったのはなぜか。共同企業体は条件としていたのか。

* 指名と異なり一般競争入札では、1 社入札してくれれば奇特定の業者かもしれない。一方で、参加者が少ないのは、発注地域が狭過ぎるのではないか、広げれば競争性が高まるのではないかという検討も必要だ。

* 特命で落札率が低い案件があるが、価格交渉の結果ということか。

* 特命の場合には受注が見込まれる業者に見積り依頼をすることが多い。妥当で適正な価格になっているか、時々、他の自治体と比較して、割高になっていないかなどチェックしたほうが良い。

* 便所改修工事は、政策的に 3 年間で全校の改修工事を行う予定で、普段は同じような工事が集中することは余りない。居ながら工事になるので、工期もばらせないという条件になり、取り抜けで受注機会の確保を図るという意味合いを持っている。

* 2 億円以上の案件は単独参加でも J V を組んでも良いことになっている。最近は大規模案件でも技術者がいないという理由で不調になることがある。オリンピック以降、どのような傾向になるのかは、注視していく。この工事については、建築工事の受注者が 10 近くある関連工事を統括する必要があるので、敬遠されたかもしれない。

* 所管課だけではなく、契約課でも事業者から見積りを取り、その場で価格交渉を行っている。

<p>(2) 報告</p> <p>ア 業種別工事・委託契約の推移について</p> <p>* 参加者数が減って落札率が上がっていることを逆相関とって、上位10業種については入札参加者数と落札率は逆相関している傾向にある。入札参加者数を増やす方策を考えないといけない。</p> <p>イ 平成31年度優秀工事事業者表彰実施報告</p> <p>* 工事成績が平均点以上の業者しか参加できない入札を検討していただきたい。</p>	<p>・平成30年度工事契約及び委託等契約（総価・競争）の落札率上位10業種について、過去5年間の推移で特徴的な点を説明する。</p> <p>【上位10業種】</p> <p>（工事契約）ガードレール、水処理装置、建築工事、一般土木工事、エレベーター、下水道施設工事、造園、道路標識設置、給排水衛生工事、道路舗装工事</p> <p>（委託等契約）設備設計、産業用機械器具類、警察・消防・防災用品、環境関係測定機器保守、測量、下水道管路内TVカメラ調査業務、管渠清掃、クリーニング、賃貸業務、医療品・衛生材料・介護用品</p> <p>* 工事は変動型最低制限価格を3者で算定としている。応札者が1者や2者の業種は地域要件を拡大するというような判断基準を設定することは、できなくはない。</p> <p>・令和元年7月26日実施の平成31年度優秀工事事業者表彰について報告する。</p> <p>1 表彰式</p> <p>（1）日時 令和元年7月26日（金） 午後3時から</p> <p>（2）会場 立川市役所 302 会議室</p> <p>2 受賞事業者</p> <p>（1）個別成績部門 2社</p> <p>（2）平均成績部門 6社</p> <p>* 具体的な形になっていないが、検討はしている。ただ、業種ごとの平均点に差があるので一律の平均点で基準を設けるのには課題がある。</p>
--	---

<p>3 その他</p> <p>* 新清掃工場の発注について、落札までの経緯がモデルとして一種のマニュアルになると思うので、結果をまとめておく必要があるのではないか。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 次回開催について</p>	<p>* 経緯を含めて記録として残す。</p> <p>・ 次回の開催は10月28日（月）午前10時</p>
---	---